

収 支 計 算 書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	備 考
企画事業収入	4,500,000	4,280,000	220,000	
春季講演会収入	2,500,000	2,205,000	295,000	併設セミナー含む
オータム、ウインターセミナー	750,000	462,000	288,000	
若手育成フルードパワー道場	750,000	750,000	0	
子供向けフルードパワー体験講座	0	18,000	△ 18,000	
その他の企画事業	500,000	845,000	△ 345,000	OHC-sim特別教育講座
資料頒布収入	1,200,000	1,015,643	184,357	【注1】
学会誌頒布収入	800,000	769,874	30,126	
諸資料頒布及び著作権料	300,000	235,459	64,541	
研究委員会成果報告書頒布	100,000	10,310	89,690	
論文集収入	800,000	975,000	△ 175,000	【注2】
論文掲載料収入	800,000	975,000	△ 175,000	
広告料収入	1,700,000	1,850,100	△ 150,100	
広告料収入	1,700,000	1,850,100	△ 150,100	
会費収入	22,350,000	21,873,000	477,000	
賛助会員会費収入	15,000,000	15,000,000	0	
正会員会費収入	7,000,000	6,547,000	453,000	
学生会員会費収入	350,000	326,000	24,000	
産学共同研究委員会収入	1,000,000	980,000	20,000	
OHC-sim特別研究委員会	800,000	800,000	0	
その他特別研究委員会	200,000	180,000	20,000	機能性流体研究委員会
特別研修会収入	2,400,000	1,400,000	1,000,000	
FPS特別研修会	2,400,000	1,400,000	1,000,000	
IFPEX2008関連収入	180,000	160,000	20,000	
論文集頒布収入	30,000	27,000	3,000	
展示収入	150,000	133,000	17,000	
雑収入	16,000	77,353	△ 61,353	
受取利息	16,000	66,663	△ 50,663	
雑収入	0	10,690	△ 10,690	
寄付金収入	5,000,000	0	5,000,000	
一般寄付金収入	5,000,000	0	5,000,000	【注3】
当期収入合計(A)	39,146,000	32,611,096	6,534,904	
前期繰越収支差額	6,685,914	6,685,914	0	
収入合計(B)	45,831,914	39,297,010	6,534,904	

【注1】学会誌の定期購読会員の減少、資料、研究成果報告書の頒布が予測以下となった。

【注2】論文集への掲載件数が、予測以上となった。

【注3】経済状況悪化で、寄付金収入が0となった。

2・支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	備考
会誌事業費	9,400,000	10,616,324	△ 1,216,324	
会議費	330,000	404,743	△ 74,743	
諸謝金	570,000	605,891	△ 35,891	
印刷製本費	4,500,000	5,543,501	△ 1,043,501	
通信運搬費	800,000	863,290	△ 63,290	
編集業務委託費	1,200,000	1,372,140	△ 172,140	
人件費	2,000,000	1,826,759	173,241	
企画事業費	7,550,000	7,837,799	△ 287,799	
会議費	1,200,000	708,353	491,647	第3回委員会地方開催で会議費減
春季講演会開催費	1,400,000	1,673,925	△ 273,925	併設セミナー含む
オータム、ウインターセミナー	500,000	349,548	150,452	
若手育成フルードパワー道場	500,000	310,299	189,701	
その他企画事業開催費	450,000	741,280	△ 291,280	OHC-sim特別教育講座
子供向けフルードパワー体験講座	0	144,627	△ 144,627	【注1】
企画事業運営人件費	3,500,000	3,909,767	△ 409,767	
研究委員会事業費	1,080,000	566,542	513,458	
機能性流体を活用した次世代型フルードパワーシステムに関する研究委員会	280,000	262,000	18,000	
水圧駆動システムの新しい応用に関する研究委員会	100,000	0	100,000	
フルードパワーのトライボロジー研究委員会(Ⅱ)	100,000	4,542	95,458	
空気圧システム基礎特性研究委員会(流量特性に着目した省エネ化及び信頼性研究)	100,000	100,000	0	
FLUCOME研究委員会(流量計制御と可視化に関する研究)	100,000	100,000	0	
空気圧機器・システムのロードマップに関する研究委員会	100,000	100,000	0	
研究委員会報告書作成費	300,000	0	300,000	
産学共同研究事業費	720,000	720,736	△ 736	
OHC-sim特別研究委員会	720,000	720,736	△ 736	
特別研修会費	1,200,000	878,180	321,820	
FPS特別研修会	1,200,000	878,180	321,820	
表彰事業費	400,000	438,689	△ 38,689	
表彰費(含会議費)	300,000	316,905	△ 16,905	
人件費	100,000	121,784	△ 21,784	
情報関連事業費	916,070	714,505	201,565	【注2】
IT機器保守契約料	126,000	126,000	0	
回線使用料、ドメイン管理費など	159,310	23,940	135,370	契約会社変更により経費減少
学会IT環境整備費	105,000	158,130	△ 53,130	HPモニテ、プリンター2台更新
サーバー保守	95,760	106,760	△ 11,000	
会議費、運営費	60,000	55,499	4,501	
FPIC原稿料、データベース入力料	170,000	61,500	108,500	
人件費	200,000	182,676	17,324	
国際交流事業費	600,000	880,000	△ 280,000	
国際交流事業費	600,000	880,000	△ 280,000	
論文集事業費	910,000	1,016,623	△ 106,623	
会議費	10,000	2,840	7,160	
論文集公開経費(J-STAGE)	200,000	283,080	△ 83,080	
論文集運営人件費	700,000	730,703	△ 30,703	

次ページに続く

科目	予算額	決算額	差額	備考
IFPEX事業費	210,000	216,978	△ 6,978	
IFPEX論文集作成費	110,000	101,640	8,360	
IFPEX出展費	100,000	115,338	△ 15,338	
管理費	12,663,692	13,244,368	△ 580,676	
給与手当	4,000,000	4,073,346	△ 73,346	
福利厚生費	900,000	950,825	△ 50,825	
会議費	800,000	1,030,627	△ 230,627	
旅費交通費	10,000	16,710	△ 6,710	
通信運搬費	600,000	575,995	24,005	
什器備品費	1,000,000	985,320	14,680	
消耗品費	370,000	509,054	△ 139,054	封筒、コピー用紙など
賃借料	3,433,692	3,433,692	0	
諸謝金	650,000	704,445	△ 54,445	会計事務所・東京経営管理協会
雑費	300,000	484,708	△ 184,708	会計ソフトメンテ費、手数料増
他団体参加会費	100,000	110,200	△ 10,200	
基盤強化委員会費	500,000	369,446	130,554	
基金、引当預金繰入支出	3,000,000	1,000,000	2,000,000	【注3】
退職金引当預金繰入	1,000,000	1,000,000	0	
基金繰り入れ	2,000,000	0	2,000,000	
予備費	496,238	0	496,238	
予備費	496,238	0	496,238	
当期支出合計(C)	39,146,000	38,130,744	1,015,256	
当期収支差額(A)-(C)	0	△ 5,519,648	△ 5,519,648	【注4】
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,685,914	1,166,266	△ 5,519,648	【注5】

【注1】公益事業の一環として、子供向けフルードパワー体験講座の開催及び支援を行った。

【注2】契約会社変更により、回線使用料、ドメイン管理費などの経費が減少した。

【注3】収入が減少したため、基金への繰り入れを0と、退職金引当預金への繰入を100万円とした。

【注4】収入の減少により、退職金引当預金への繰入(100万円)を考慮しても、平成20年度の収支は、実質約450万円の赤字決算になった。

【注5】次期繰越収支差額は、今期の赤字分を差引いて約117万円になった。